

1. 教育目標

口腔科学では、歯科口腔領域疾患を包括的に把握するとともに、それぞれの疾患の成因、診断、治療、および予防法について基礎的ならびに臨床的研究を行う能力を培い、疾患を科学的に理解する素養を身につけることを目標とする。当教室の研究の主体は、顎口腔領域に発生する硬組織および軟組織疾患の発生と治療に関する基礎的ならびに臨床的研究であり、細胞培養、動物実験モデルを用いて細胞生物学的、分子生物学的解析を行っている。

2. 到達目標

- (1) 目的とする疾患に対する文献検索、情報収集を行い、疾患の病因を自然科学的に説明できる。
- (2) 細胞培養、動物実験、免疫組織化学、遺伝子工学などの基本的な実験手技を習得する。
- (3) 実験を正確に遂行し、その結果を評価することができる。
- (4) 得られた実験結果をまとめ、部内あるいは学会などで報告することができる。
- (5) 学術論文として、実験結果を論理的にまとめることができる。

3. 成績評価の方法と基準

成績の評価は、本学で定められた「成績の評価基準」に基づき、到達目標に対する達成度及び習得すべき基礎知識・技能の修得度により行う。

- ・ 実験内容を記したラボノートの提出(20%)
- ・ 課題(英語論文)に対するレポート提出(30%)
- ・ 研究結果の学会発表(50%)

4. 教科書・参考書

特に定めないが口腔がんに関してはNCCNの診療ガイドラインをダウンロードしておくこと。

5. 準備学習

- ・ 予習として指導教官より与えられた研究論文を通読し、背景を理解した上でレポート作成に取り込むこと(3時間以上)
- ・ 復習として日々行った実験の結果をラボノートに詳細に記述し、整理しておくこと(1時間)
- ・ 学会発表には発表原稿やパワーポイントの作成を行い、自らの主張がよく分かる様にまとめること(のべ20時間以上)

6. フィードバック方法

当該年度修了時に提出する「研究計画書」、又は「研究進捗・指導状況報告書」によりフィードバックを実施する。

(第1学年・昼間開講)

【口腔科学】

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
講義	口腔領域疾患の診断と治療	岸本主任教授 野口臨床教授	月曜/3限	通年	4	セミナー室
講義	顎骨の特異性と疾患の理解	上田助教 大森助教	火曜/1限	半年	2	セミナー室
演習	口腔領域の生理機能とリハビリテーション	吉川講師 徳本助教	火曜/2限	半年	2	セミナー室
実験 実習	口腔病理学、細胞培養法、遺伝子解析	野口臨床教授 吉川講師	水曜/2限	通年	2	2研
実験 実習	口腔がんの診断と治療	野口臨床教授 吉川講師	木曜/1, 2限	通年	4	外来
実験 実習	口腔外科疾患の手術適応と実際	岸本主任教授 野口臨床教授 吉川講師	金曜/1, 2限	通年	4	手術センター

(第1学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
講義	口腔領域疾患の診断と治療	岸本主任教授 野口臨床教授	月曜/6限	通年	4	セミナー室
講義	顎骨の特異性と疾患の理解	上田助教 大森助教	火曜/6限	半年	2	セミナー室
演習	口腔領域の生理機能とリハビリテーション	上田助教 徳本助教	火曜 7限	半年	2	セミナー室
実験 実習	口腔病理学、細胞培養法、遺伝子解析	吉川講師 大森助教	水曜/7限	通年	2	2研
実験 実習	口腔がんの診断と治療	吉川講師 徳本助教	木曜/6, 7限	通年	4	セミナー室
実験 実習	口腔外科疾患の手術適応と実際	岸本主任教授 野口臨床教授 吉川講師	金曜/6, 7限	通年	4	セミナー室

(第2学年・昼間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
実験 実習	口腔領域における再建および組織再生 (インプラント学を含む) 実習	野口臨床教授 上田助教 大森助教	月曜/3, 4限	通年	4	外来
実験 実習	口腔病理学、細胞培養法、遺伝子解析	野口臨床教授 吉川講師	水曜/1, 2限	通年	4	2研
演習	研究経過報告と関連論文の抄読	岸本主任教授 野口臨床教授	金曜/5限	通年	4	セミナー室

(第2学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
実験 実習	口腔領域における再建および組織再生 (インプラント学を含む) 実習	野口臨床教授 上田助教 大森助教	月曜/6, 7限	通年	4	セミナー室
実験 実習	口腔病理学、細胞培養法、遺伝子解析	野口臨床教授 吉川講師	水曜/6, 7限	通年	4	2研
演習	研究経過報告と関連論文の抄読	岸本主任教授 野口臨床教授	金曜/6限	通年	4	セミナー室